

靖国合祀イヤです・アジアネットワーク

教育ニ関スル勅語

9/29 第一回靖国連続学習会

惟我皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚
ナリ我カ臣ニシテ忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ
濟スルニ由リ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス
爾臣民父母ニ孝ニ弟ニ友ニ夫婦兄弟ノ間ニ信シ恭儉己レヲ
持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ徳器ヲ

「教育勅語」の何が問題なのか

～ヘイト・スピーチとのかかわりから考える～

講師 駒込 武さん

駒込武（こまごめたけし）プロフィール：京都大学大学院教育学教授／専門は植民地教育政策。著書に『植民地帝国日本の文化統合』／『現代教育史事典』（共編著）／『戦時下学問の統制と動員』（共編著）／『世界史の中の台湾植民地支配』他共著も含め多数。

第1回靖国連続学習会

教育勅語、「一旦緩急アレバ」という表現が軍国主義的であると言うにとどまらず、テキストの全体的な構造と「奉戴」の仕組みを考えれば、むしろ「私、日本人でよかった」という趣旨のメッセージを発していることこそ根本的な問題なのではないだろうか！台湾現代史、特に植民地における教育政策を研究される駒込武さんによる「教育勅語」をめぐる問題提起です。靖国連続・第1回学習会「教育勅語」の何が問題なのか！是非ご参加下さい。

日時 9月29日(金) 6時30分～

場所 エル大阪 606号室

(地下鉄/京阪・天満橋下車西へ300m)

講師 駒込 武さん (京都大学教員・教育学)

参加費 500円

今後の予定

第2回 (2017年12月15日)

「国家神道形成史」

講師：藤原正信さん

第3回 (2018年3月頃)

「近代日本の天皇制と宗教」

講師 (交渉中)

詳細追ってお知らせ